

あおぞら

行方市 社協だより

No.41 2016.6.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



麻生高光会

(近隣市町村の施設を訪問して、入所者の方とレクリエーションを通して交流を図っています。その他にも地区の集いにも参加し、舞踊の披露する活動をしています。)

P12

ボランティア活動報告
編集後記

P11

善意銀行

P8-10

トピックス・お知らせ

P6-7

福祉な声

P5

いきいき長寿者紹介

P4

平成28年度予算

P3

平成28年度事業計画

P2

会長あいさつ

目次

会長 あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会

会長 鈴木 周也

平成28年度第1回広報紙「あおぞら」を発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より皆様方には行方市社会福祉協議会の事業推進にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

はじめに、熊本地震災害でお亡くなりになった方々へ哀悼の意を表すとともに被害にあった方々へお見舞い申し上げます。

また、平成27年9月の関東・東北豪雨で被害にあった常総市へボランティア活動や支援金によるご協力をいただいた市民の皆様には敬意と感謝を申し上げます。

さて、行方市においては高齢化率が30%をこえ、介護をはじめ福祉の重要性が再認識されており、利用者のニーズも拡大・多様化し、一人一人に合ったサービスが求められています。

併せて、介護保険制度の改正による予防事業の取り組みも急務となってきました。

こうした中、「あなたが支えるふるさとなめがた」を基本理念とした地域福祉活動計画を一つ一つ進めるなかで、市民が安心して暮らせるまちづくりのため、住民・行政・関係団体の協働のもと、取り組んでまいりますので皆様の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年度行方市社会福祉協議会事業計画

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります。

地域福祉事業

- 高齢者福祉事業
 - ・給食サービス事業
 - ・介護予防事業
 - (1) 介護予防教室
 - (2) 高齢者サロン
 - (3) 地域支援事業
- 障害者(児)福祉事業
 - ・びっくり・発見・夏キャンプ
 - ・のびのびサポート事業
 - ・視覚障害者用録音物配布事業
 - ・障害者スポーツ大会参加者支援
 - ・こころのサロン
- 母子・父子福祉事業
 - ・ひとり親家庭事業
 - (1) ふれあい遠足
 - (2) 新入学祝品贈呈
- 子育て支援事業
 - ・子育てサポート事業
 - ・養育支援訪問事業
- ボランティア活動の推進
 - ・ボランティアセンターの運営強化
 - ・ボランティア講座の実施
 - ・ボランティアグループの育成・援助
 - ・福祉教育の推進
- 共同募金運動
- 歳末たすけあい運動
- 福祉関係団体の支援

相談支援事業

- 法律相談事業
- 日常生活自立支援事業

資金貸付事業

- 生活福祉資金貸付事業

在宅生活支援事業

- 福祉機器(車いす等)貸出事業
- 福祉車輦貸出事業
- 訪問歯科治療器具貸出事業
- 在宅生活リハビリアドバイザー事業
- 在宅福祉サービス事業
- 軽度生活援助事業

広報啓発事業

- 広報紙「あおぞら」の発行
- ホームページの管理運営
- 第2期行方市地域福祉活動計画の策定

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

障害者総合支援事業

- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 同行援護
- 行動援護
- 計画相談支援
- 就労継続支援B型

地域生活支援事業

- 移動支援事業
- 地域活動支援センター

その他社会福祉関連事業

- デマンド型「ミニテイバス(乗合タクシー)事業

当事者団体支援事業

- 行方市ボランティア連絡協議会
- 行方市老人クラブ連合会
- 行方市身体障害者福祉協議会
- 行方市遺族会



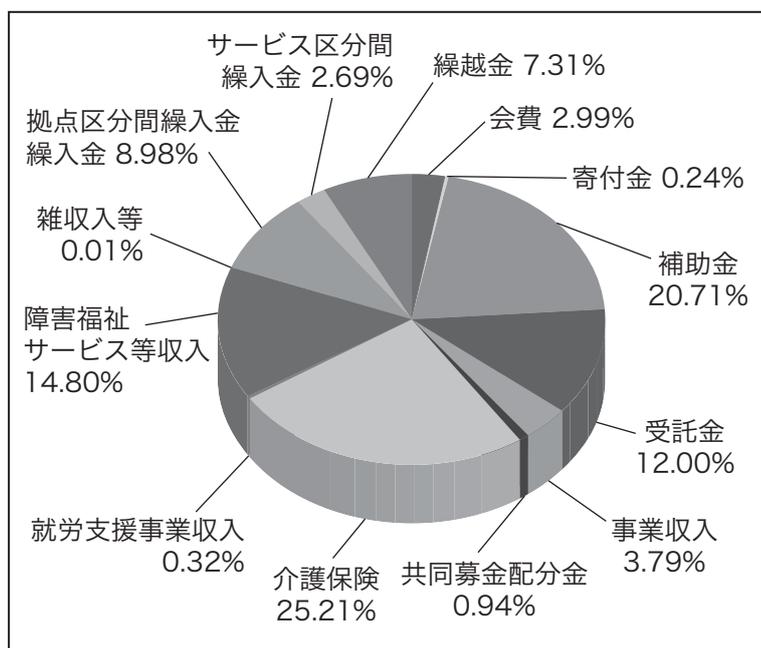
平成28年度行方市社会福祉協議会予算

平成28年度予算は3月に行われました理事会・評議員会で議決され決定しました。住民の皆様からの会費や介護報酬のほかに市からの補助金・受託金や共同募金等で様々な福祉事業に役立てられます。

一般会計 339,991,000円

収入

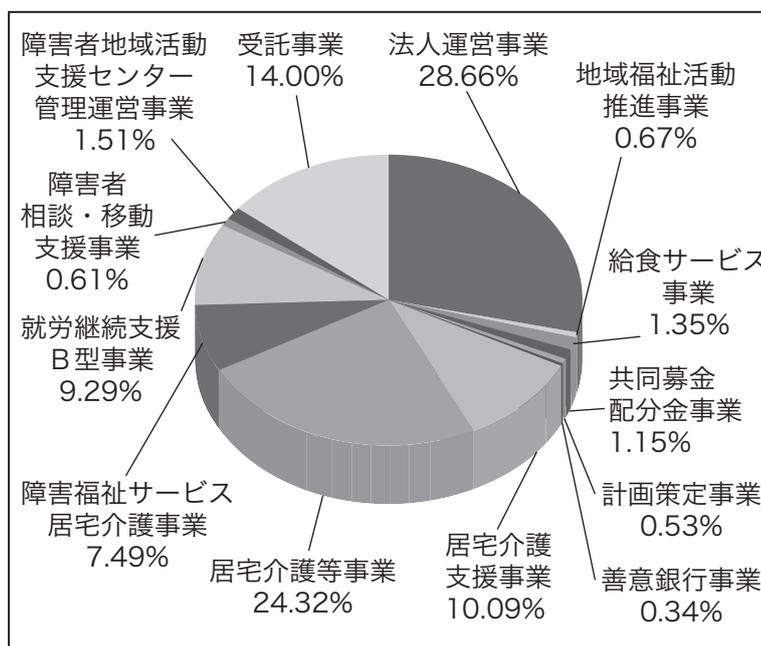
(単位：千円)



会費	10,180
寄付金	830
補助金	70,396
受託金	40,809
事業収入	12,894
共同募金配分金	3,204
介護保険	85,713
就労支援事業収入	1,083
障害福祉サービス等収入	50,330
雑収入等	21
拠点区分間繰入金収入	30,540
サービス区分間繰入金収入	9,151
繰越金	24,840
合計	339,991

支出

(単位：千円)



法人運営事業	97,426
地域福祉活動推進事業	2,262
給食サービス事業	4,587
共同募金配分金事業	3,914
計画策定事業	1,810
善意銀行事業	1,166
居宅介護支援事業	34,298
居宅介護等事業	82,669
障害福祉サービス居宅介護事業	25,463
就労継続支援B型事業	31,587
障害者相談・移動支援事業	2,081
障害者地域活動支援センター管理運営事業	5,121
受託事業	47,607
合計	339,991

いきいき長寿者紹介

かのう せいしん
加納 精さん 92歳 (行方市小幡)



毎日5000歩以上を心がけています！

加納さんは日課として、毎日5000歩を目標に歩いているそうです。「天気が悪い日以外は、毎日だね。ただ歩くだけでなく、歩幅を広くとることを意識して歩くことが大切なんだ。」



加納精さん

つも歩いているコースを覚えていただいたところ、約3kmを歩いていることがわかり驚かされました。そして、「今は、これといった病気もしていないし、健康なのは確かだ。」と力強くお答えいただきました。

加納さんは生まれも育ちも小幡で、農業を営まれ、結婚後子どもにも恵まれ、現在は息子さん夫婦と過ごされています。そして孫が7人、曾孫が3人いらっしゃるそうで、「孫や曾孫が遊びにくるのが楽しみで、曾孫とは学校の成績があがったら小遣いをあげる約束をしているよ。でも、成績に

関係なく渡してしまうけどね。」と嬉しそうにお話ししてくれました。

初めに紹介させていただいた歩くこと以外にも、毎週日曜日と水曜日にクロッケーを、その他にも、高須崎公園でグラウンドゴルフをプレーされていることで、「クロッケーとグラウンドゴルフは、地元の老人クラブに入った時から続けていて、輪投げもやるよ。クロッケーは、毎年秋に、潮来市のチームと交流試合をしていて、昨年は勝ったんだよ。」とのこと。クロッケーは、「いきいき長寿者紹介」で以前にお話を伺ったことがある、米澤精一さんや店曲みねさんたちとプレーされているそうです。

また以前、地元老人クラブの会長を務めていたこともあり、老人クラブ内で、「仲間内でも、悪いことは悪いと、はっきり言うよ。」と真つ

直ぐな性格の方です。そして、活動の中で知り合った友人も多く、その友人たちに会うことも楽しみの一つであり、老人クラブの活動を盛り上げていくのが生きがいとおっしゃっていました。

最後に加納さんは、「家族が満足でいられるのが一番いいこと。」そしてこれからの目標は、「100歳までがんばるよ。友人からも、よく言われるからね。」と笑顔でおっしゃってくださいました。ここでは紹介しきれませんが、ご家族やご友人のこと、そして老人クラブのことなど多くのことをお話しいただき、加納さんの悪いことは許さないという真つ直ぐな性格を感じることもできたインタビューとなりました。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

福祉な声

私たちの住む地域には、様々な福祉の施設があります。
今回は、障害者就労継続支援 B 型サービス「いもや」・障害者グループホーム「いもやホーム」のサービスを提供している、一般社団法人いもやの職員の方にお話を伺いました。

支援した方々が少しでも仕事の上での向上、精神面でのフォローが出来たときです。

利用者の方が楽しそうにしていたり、笑顔が見れることです。

やりがいや魅力は何ですか

協力して出来たときの達成感。
明るく元気に楽しそうにしているときです。



たくさんのさつまいもが収穫できました

人は一人では生きていけないということ。どこかでだれかとつながりを持って日々の生活が成り立っているのが、働くみんなと協力して今日よりは明日と、ホップ・ステップ・ジャンプと向上していくことを心がけています。

そして、一日一日を大切に、一人一人がこれからの厳しい世の中を一人で生きていくことが出来るように知恵と勇気をあたえる支援を大切にしています。



協力しながら楽しく作業をしています

大切にしていることや心がけていることは

一人一人の気持ちにそって相談にのったり、本人の気持ちを尊重することです。そして、一般就労に結びつけることができるよう、何か手助けできることがあればと思っています。

一人一人の個性を大切に、協力して日々向上出来るよう心がけ、誠意を持って接し、相談し易い環境づくりと1日でも早く就労に向けた支援が出来るようにしています。



キャベツの収穫

人は一人一人個性があってあたりまえだし、その人の目線に立って物事をとらえる努力は必要だと思います。
相手の立場に立ってみんなで地域を盛り上げてほしいです。

要望や協力してほしいことはありますか



いもやの皆さん



野菜づくりから出荷まで行っています



一般社団法人 いもや

〒311-3811 茨城県行方市四鹿816-7
電話・FAX 0299-73-3838

作業活動内容

- ・野菜づくりから出荷までの作業
- ・農家からの請負作業
- ・施設外の就労

春：さつまいも、花の苗、きゅうり、かぼちゃ、白菜、キャベツ
 夏：さつまいも、スイカ、トマト、とうもろこし、ゴーヤ、なす
 秋：さつまいも、ほうれん草、春菊、かぼちゃ、キャベツ、ネギ、ニンジン
 冬：さつまいも、ほうれん草、白菜、ネギ、キャベツ、大根 等



―誌面に掲載した以外にもたくさんのお話をさせていただきました。そして取材を通して職員の方の利用者及び障がい福祉に対する思いを感じました。これからのますますのご活躍をご期待申し上げます。お忙しい中、ありがとうございました。

行方市ボランティア連絡協議会主催全体研修会

テーマ ～ その時！自分たちにできること ～

3月20日(日)行方市麻生公民館で、ボランティア連絡協議会全体研修会を開催しました。

平成27年9月に、台風18号による大雨災害で大きな被害を受けた常総市での活動をもとに、災害時に自分たちに何ができるかを参加者全員で話し合いました。

常総市災害ボランティアセンターで中心的に活躍された2名を講師としてお招きしそれぞれの立場から被災地での支援活動報告をしていただきました。

講演の中では、「常総市災害ボランティアセンターでの活動、災害ボランティアセンターの重要性」など、貴重な体験をもとにお話しいただきました。

講師 茨城県社会福祉協議会 福祉のまちづくり推進部
部長 篠原 義典 氏
講師 常総市社会福祉協議会 地域支えあいセンター
主幹 深谷 和美 氏

参加ボランティア全員でテーマである「その時！自分たちにできること」についてグループワークで意見交換を行いました。

参加者からは、「実際に被災地で活動された方の話が聞いて災害への意識が高まった」、「災害の本当の怖さを実感した」、「日頃からの備え、人間関係の大切さを感じた」、「ボランティアセンターの重要性を理解できた」など、多くの感想や意見をいただくことができ、有意義な研修会となりました。

その他にも！

- 炊き出し支援（被災者・ボランティア等）
- ボランティア慰問（避難所等）
- 災害ボランティアの育成
- チャリティーバザーの開催（義援金の送金）
などなど！



色々な意見がだされました

今後、行方市で大規模な災害が発生した際に、「災害ボランティアセンター」を円滑に運営できるよう、市と連携して策定した災害ボランティアセンター運営マニュアルの検証と評価をすすめていきたいと考えております。

また、平時から各関係機関、関係団体、住民の方との連携・協力関係の構築を推進していきます。

茨城県社会福祉協議会主催の相談会が、今年度は行方市で開催!!

平成28年度 福祉・介護職場就職相談会

相談内容

- 求職に関する相談
- 福祉の仕事・資格等の相談
- 求人に関する相談

相談対象

- 福祉の職場に就職を希望する方
- 福祉の職場に関心のある高校生・専門学校生・短大生・大学生の方
- 福祉の仕事・資格取得に関心のある方
- 求人事業所の方

相談時間

○午後1時30分から午後3時30分まで

日程

平成28年 6月24日(金) 平成28年 7月22日(金) 平成28年 8月26日(金)
平成28年 9月23日(金) 平成28年10月28日(金) 平成28年11月25日(金)
平成28年12月 9日(金) 平成29年 1月27日(金) 平成29年 2月24日(金)
平成29年 3月24日(金)

計10回



相談は無料
事前の予約が
必要です

相談員

- キャリア支援専門員
(茨城県社会福祉協議会茨城県福祉人材センター所属)

相談会場

- 行方市社会福祉協議会本所
行方市玉造甲403番地 行方市玉造福祉センター

ご予約・お問合せ先

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会福祉人材・研修部
水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館2階
TEL 029-244-4544 FAX 029-244-4543

老人クラブに入会しませんか？

行方市老人クラブ連合会麻生支部では、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、充実した生活を過ごすとともに、地域の諸団体と共同し、地域貢献などの社会活動に取り組みながら活動しています。

主な活動として、年2回開催されるグラウンドゴルフ大会等の各種スポーツ大会や研修旅行など、多様な事業活動を行っています。

老人クラブの活動に興味のある方、仕事や趣味を通じて得た知識、経験を生かしたいと考えている方は、老人クラブに加入して一緒に活動しませんか。

【会員対象】 市内在住の65歳以上の方ならどなたでも加入できます。

【入会方法】 お住まいの地域の老人クラブ会長に、直接申し込んでください。

地域のクラブがわからないときは、行方市社会福祉協議会までお問い合わせください。



研修旅行「東京スカイツリー」



研修旅行「浜離宮恩賜庭園」

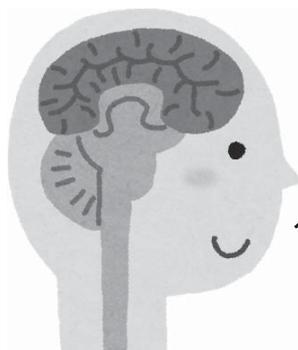
【問い合わせ】 行方市老人クラブ連合会事務局（行方市社会福祉協議会内） TEL：0299-36-2020

ご存知ですか？ 高次脳機能障害

高次脳機能障害とは頭を強くぶついたり、脳卒中等の病気で脳に受けたダメージを原因とした後遺症です。

主な症状

- ・新しいことが覚えられなくなる
- ・気が散りやすく作業を長く続けられない
- ・段取りよく仕事ができなくなる
- ・ささいなことで怒ったりイライラする



高次脳機能障害は誰にでも起こりうる障害です。一人で悩まないでお気軽にご相談ください。

【相談先】 茨城県立リハビリテーションセンター

TEL：0296-78-2605（高次脳機能障害者支援相談専用）

ホームページ（茨城県高次脳機能障害者支援情報サイト）

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenhukushi/riha/sodan/kojino/index.html>

平成28年度茨城県介護支援専門員実務研修受講試験

●試験期日

平成28年10月2日（日）午前10時開始

●試験会場

茨城県内数か所を予定

●受験願書の受付

(1)受付期間 平成28年5月27日（金）～平成28年7月1日（金）

※当日消印有効

(2)受付方法 簡易書留で郵送されたもののみ受付

(3)郵送先 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部あて

※出願書類については、茨城県社会福祉協議会及び茨城県長寿福祉課地域ケア推進室のホームページからダウンロードした様式でも可能です。ただし、受験手数料の振込用紙は、ホームページからダウンロードできませんので、返信先を明記のうえ82円切手を貼った返信用封筒を、「振込依頼書請求」と朱書きした封筒に同封して茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部あて（問合せ先参照）に請求すること。

●試験合格発表日時

平成28年11月22日（火）午前10時

※その他詳細については下記連絡先へ、お問合せください。

●問合せ先

〒310-8586 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部

電話029-241-4121

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

寄附金

預託者名	金額 (円)	指定先
岡里雅夫	20,000	無指定
塙勝男	20,000	北浦地区
白戸慶一	10,000	北浦地区
茨城県立玉造工業高等学校	2,644	無指定
宮河豊	30,000	無指定
行方市商工会女性部	16,000	無指定
戸大建設工業株式会社	50,000	無指定
荒張高一	20,000	無指定
匿名	31,150	無指定
匿名	12,600	無指定
匿名	10,000	無指定



平成28年2月1日から平成28年4月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
岡里富喜子	車椅子 ポータブルトイレ オムツ	無指定
匿名	かいまき布団2枚 かいまき毛布1布 シーツ2枚	無指定

平成28年熊本地震義援金の募集について

平成28年4月14日からの熊本県熊本地方を震源とする地震により、県内各地で甚大な被害が発生し、熊本県全市町村に被害救助法が適用されました。

本会では、熊本地震による地震等の災害により被災した方々を支援するため、義援金を受付しております。

趣旨をご理解いただき、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

受付場所 行方市社会福祉協議会 (本所・麻生出張所)

募金箱 行方市社会福祉協議会 (本所・麻生出張所)

設置場所 行方市各庁舎・公民館・保健センター・図書館・開発公社及び株式会社セイミヤモール麻生店にも募金箱を設置しております。

また、市内の企業等で募金箱設置にご協力いただける際は、問い合わせ先までご連絡ください。

※なお、本会にお寄せいただきました義援金は、被災された皆さまにお届けします。

お問合せ先 茨城県共同募金会 行方市支会
〒311-3512 茨城県行方市玉造甲403
社会福祉法人 行方市社会福祉協議会内
電話 0299-36-2020

地域で活動する！ ボランティアサークルの紹介です。

ほたる灯



毎月第2第4木曜日に手話勉強会を開催し、文化祭等での発表に向けて、身近な単語手話を使って、歌等の練習を親しみやすく学習しています。また、各学校等からの依頼があるときには、福祉教育の手話指導も行っています。

クローニー・チャット



音楽療法、影絵、読み聞かせ、紙芝居、人形劇等を行っています。グループ名の意味でもある「仲間との楽しいおしゃべり」の中から作品が出来上がってきました。これからも楽しみながら活動していきたいです。

更生保護女性会玉造支部



青少年育成のお手伝い、募金活動、子育て支援活動を中心に活動をしています。

カラオケ親睦会



趣味が高じて会が発足しました。月1回以上の施設慰問を中心に、会員・入所者がともに楽しめるよう活動しています。

行方わくわくスポーツクラブ



ニュースポーツの普及と振興を図り、高齢者の健康づくり、居場所づくり、心身共に健康で健全な活動と地域の元気づくりにも努め、いつでも誰でも参加者に喜ばれ楽しめる機会の場を提供する活動をしています。

一二三会



毎年5月の連休中の恒例となっている、チャリティもちつき大会をはじめ、募金活動等にも協力しています。

広報委員

委員長	大軒 光江
副委員長	代々城千尋
委員	大久保 守
	菅谷 京子
	磯山 正子
	高橋さち子
	新堀 文江
	横田 照実
	石橋 展子
	渋谷 節夫



薫風とともに木々の緑が美しく織りなしています。

このたびの熊本地震の被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。全国各地からは温かい支援の手が差し伸べられ、募金や被災地へ出むいての支援活動、ふるさと納税制度を活用した被災自治体への寄付、また、各地では元気を届ける様々なイベントが開催されています。そんな被災地では「くまもん あのね」のツイッターで、今の幸せをつぶやいているそうです。苦しさの中で見た幸せを応援してくれている人達に届けたいという思いからだそうです。

日本人は昔からお礼をいわれると「お互いさまですから」と答え、また、物事が無事に終わると、謙虚に「お陰さまで」と感謝しました。お互いに助け合い、支え合っていることを表現するために、「御互い様」と丁寧な言い方をし、他人に奉仕することの大切さを自覚していました。また、感謝の気持ちを表すため、「御陰様」と言いました。「お互いさま」や「お陰さま」は、謙虚さや反省の心を引き出してくれるうえで、とても大切です。多くの人に感謝して、このような美しい言葉を忘れない生活を送りたいものです。

「いつでも どこでも 誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくり」は日本人がもっている謙虚さや感謝の気持ちをもって、支え合う生活からはじまります。一本の木が林になり、そして優しいいっばいの大きな森になる。そんな森でこの行方市を一杯にしたいですね。

お陰さまで「あおぞら」第41号を発行することができました。本紙は行方市で実施しています福祉事業・ボランティア活動など詳しく掲載しております。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。お待ちしております。

広報委員 菅谷京子

編集後記